

「平成23年度 総合防災訓練」について ～東日本大震災を踏まえ、巨大地震・津波を想定～

国土交通省四国地方整備局では「防災週間」（8月30日～9月5日）の一環として、東南海・南海地震等の巨大地震を想定した総合防災訓練を実施します。

- ・ 訓練日時：平成23年9月1日(木) 7:30～14:00頃までを予定
- ・ 実施場所：四国地方整備局(高松サポート合同庁舎13階災害対策室)及び四国管内20事務所

・ 訓練の目的

東日本大震災を踏まえ、「人の命を考える。」と「自分自身で考え、行動し、課題を発見する。」を訓練ポイントとして実施します。

今回の訓練は、巨大地震発生において緊急かつ応急的な対応が必要となる避難行動、安否確認、非常参集、情報収集伝達、施設点検及び被災状況把握等の様々な災害行動に対し、「人命を尊重し、職員一人一人が考え・行動する」訓練を行うことにより、大規模災害発生時における迅速かつ適切な対応能力の向上を目的としています。

※当日の取材対応は、9:00頃までを予定しています。それ以降の取材につきましては、訓練の進行状況によってはお待ちいただく場合があります。

平成23年 8月29日
国土交通省 四国地方整備局

— 問 い 合 わ せ 先 —

国土交通省 四国地方整備局
企画部 防災対策官 松本 秀 應
防災課長 上林 正 幸
TEL 087-851-8061 (内線 3125、3411)

平成23年度 総合防災訓練 実施概要

【今回の訓練ポイント（～東日本大震災を経験して～）】

○人の命を考える。

○自分自身で考え、行動し、課題を発見する。

1. 訓練日程及び想定概要等

1) 訓練日時 平成23年9月1日(木)7:30～14:00頃まで

2) 参加対象 本局及び管内事務所・出張所の職員等全員参加を基本とする。

3) 事象想定 最大地震は、東南海・南海地震等の巨大地震(地震・津波)の発生を想定。

今回の訓練ポイント「人命を尊重し、職員一人一人が考え・行動する」を重点とし、事象に応じた訓練となるよう、複数回の地震発生を下記の通り条件設定して実施する。

【前震の発生】

- 9月1日(木)午前7時30分 地震発生
- 震源地:和歌山県南部(内陸)
- 地震の規模:当日地震発生後発表
- 管内の震度:四国全域において震度4～6強を観測
- 津波の有無:無し

【本震の発生】

- 9月1日(木)時刻未定(当日判明) 地震発生
 - 震源地:室戸沖
 - 地震の規模:当日地震発生後発表
 - 管内の震度:四国全域で震度6弱～6強を観測
 - 津波の有無:津波警報(オオツナミ)(詳細は当日地震発生後発表)
- ※事務所から報告状況に応じて、本部で判断し津波警報を解除する。

【余震の発生も考慮】

- 詳細未定(当日判明)

4) 天 候 当日の天気に合わせて実施。

→上記地震によって、四国全域に同時多発(箇所未定)で災害が発生したと想定。

2. 主な訓練項目(地震発生事象に応じて、考えられる項目を適宜実施する。)

【本部関係(一例)】

- ①非常参集訓練(対象者)
- ②30分ルールによる初期災害情報の収集(担当者)
- ②初期参集者による災害対策室設営訓練(初期参集者等)
- ③災害対策本部の設置、廃止訓練(本部班)
- ④職員、職員家族等の安否確認、庁舎・宿舍の点検訓練(全員)
- ⑤各支部(現場)からの災害状況収集訓練(本部班及び河川・道路・港湾各班)
- ⑥災害箇所の四国全体把握・報告訓練(本部班及び河川・道路・港湾各班)

⑦広域的な一次復旧方策の検討訓練(河川・道路・港湾各班)

⑧その他(新災害フォトシステム送信訓練・防災エキスパート等協定団体との要請・情報集約訓練、災害対策用機械類・現地本部等の要請・派遣等訓練、TEC-FORCE派遣要請・受け入れ訓練、記者発表訓練 等々)(各担当)

【各支部(一例)】

①非常参集訓練(対象者)

②避難行動訓練(必要な支部にて)

③参集者による災害対策支部設営訓練(支部にて)

④災害対策支部の設置、廃止報告訓練(支部にて)

⑤職員、職員家族等の安否確認、庁舎・宿舍の点検訓練(支部にて)

⑥テレビ会議システムを利用した被災状況報告・要望(各支部←→本部)

⑦パトロール等による管内の被害状況収集・報告訓練(出張所→事務所→本局各部)

⑧各管内の状況不明地域の情報取得方法及び迂回ルートの確認・報告訓練(各支部)

⑨災害対策用機械類、現地本部等の要請、派遣等訓練(任意)

⑩ CCTV、衛星通信車、情報コンセント、等を活用した現地被災状況報告訓練(任意)

⑪その他(新災害フォトシステム送信訓練、各支部任意で各種手続き等訓練 等々)